

# 五十鈴の風

平成24年1月発行  
発行：市立伊勢総合病院

## 安心していただける医療を

謹賀新春

- 年頭のあいさつ・・・・・・・・院長 間島 雄一
- 新任医師の紹介・・・・・・・・よろしくお祈いします
- 院内各科紹介・・・・・・・・整形外科
- 院内部署シリーズ・・・・・・・・臨床工学室
- 健康メモ・・・・・・・・「痛み止め」、上手く付き合えていますか？
- 院内トピックス・・・・・・・・ふれあい祭りを開催しました
- 栄養管理課だより・・・・・・・・栄養士おすすめメニュー「手巻き寿司」



くすお  
「櫛樟尾神社の鬼打ち」 宮村 正典（神経内科）撮影

### 事務局だより

皆様から「五十鈴の風」の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局（総務課 中村）までお願いします。

### 市立伊勢総合病院 の 基 本 理 念

患者さんの立場より	愛情と責任を持ち、安全で安心していただける医療
病院機能の立場より	良質かつ高度の医療
地域医療の立場より	円滑かつ密な機能分担、合理的かつ効率的な医療

# 迎春

## 年頭のあいさつ

病院事業管理者 院長 間島 雄一



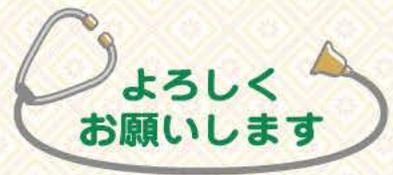
あけましておめでとうございます。本年も市立伊勢総合病院は、市民のみなさんに安全で高度の医療を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。

昨年3月11日の東日本大震災は想像を絶する被害を東北地方に及ぼしました。市立伊勢総合病院は早期に医療救護班を結成し、三重県医療救護班の一員として岩手県陸前高田市に救護班を派遣しました。救護班のメンバーは医師2名、薬剤師1名、看護師3名、事務職員2名で3月27日に2台の車で伊勢を出発し、翌日の28日から4月1日まで5日間現地で診療を行いました。現地の方には大変感謝されたようです。現地の方々の役に立てたことは何ものにも代えられない喜びでしたが、この経験が当院に災害時医療の重要性を強く認識させる契機にもなっています。院内に地震等災害対策委員会が立ち上げられ、災害時の対応に困らないように検討しています。

三重県の津波浸水予想図によると現在の当院は、M9レベルの地震があった場合でも津波の影響は無いようです。しかし、当院は築32年が経過し、耐震基準も旧耐震基準に従っていますので、新耐震基準に対応した耐震化が望まれておりました。そのような中で昨年9月、鈴木伊勢市長から新病院の建て替えの方針が出されました。今後は地震に強い建物で災害時のみならず、これまで以上に市民の皆さんに満足していただける医療を提供してゆきたいと思っています。



## 新任医師の紹介



谷口 真一 (歯科口腔外科)

出身地：多気町 出身大学：愛知学院大学 前任地：総合大雄会病院 (愛知県)

趣味：旅行 好きな言葉：有言実行

一言：この度、出身地である三重県での勤務となりました。伊勢は子どもの頃から育った町で、この土地で診療ができる事をうれしく思っています。地域の患者さんに満足して頂ける治療を心がけたいと思います。よろしくお願いします。



当院の整形外科は、現在、原部長、飯田、小畑の常勤医3人と大学からの非常勤医師（月・木曜日）で切り盛りしています。

一般外来は、平日の午前中に初診・紹介外来と予約外来を行っています。整形外科外来は、紹介患者、予約患者でなくても受診が可能です。専門外来として、原部長の手の外科外来、リウマチ外来があります。

手術は、月曜日（午後）と木曜日（午前午後）に行っています。当科は年間約680の手術件

数があり、手術件数の多い週や緊急性の高い症例の場合は、予定手術日以外にも手術を行うことが多いです。

“整形外科”という言葉は、聞き慣れているようで、実はわかりづらい言葉かもしれません。整形外科は、骨・関節・筋肉・神経などの体の運動に関わる“運動器”を診療する科です。体の場所というと、背骨や骨盤といった体の土台となる骨や四肢の運動器を診療しています。つまり、背骨、骨盤、四肢の運動器の疾患、外傷（ケガ）を診療する科が整形外科ということになります。具体的には、骨粗しょう症、変形性関節症、関節リウマチ、椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、打撲、捻挫、骨折などの外傷、腱鞘炎、手根管症候群、運動器の腫瘍などの疾患を診療しています。

整形外科の外来は、背骨や四肢の“痛み”や“しびれ感”を訴えて来院される患者さんが多いです。我々は、問診、視診、触診、レントゲン検査などで診断を試み、必要に応じて、採血、CT、MRI、神経伝達速度、骨密度といった精密検査を追加します。

治療には、消炎鎮痛薬などのくすりによる治療、サポーターなどの装具療法、リハビリテーションといった保存療法（手術をしない治療）と手術療法があります。疾患、症状、患者さんの年齢、性別、職業、スポーツ、趣味といった背景に応じて治療を行っています。

我々勤務医と開業医さんとの最大の違いは、“手術”という切り札を持っているという点です。例えば、膝の変形性関節症で、保存療法を試みるも反応せず、関節が痛くて歩くのが困難になってきた場合は、人工関節置換術といった手術療法を選択します。腰部脊柱管狭窄症で、保存療法を試みるも、歩行時の下肢の痛みや痺れ感が強く歩行困難を生じてきた場合は、神経の圧迫を除く手術を行います。また、四肢の骨折などの外傷の場合は、骨接合術などの手術療法を選択する場合があります。近年、高齢化が進む中で、高齢者の股関節の骨折が急増しています。当科では、寝たきりとそれに伴う内科的な病気を予防するために準緊急で手術を行う努力をしています。さらに、整形外科領域で、緊急手術が必要な疾患もあります。開放骨折、切断指や頸髄症や転移性骨腫瘍などで脊髄が圧迫されて四肢麻痺、膀胱直腸障害を生じてきた場合などは緊急手術が必要であり、夜間に手術をすることもあります。

当科では、地域の開業医さんと病診連携をして、精密検査の必要な患者さん、手術適応のある患者さんを数多く紹介していただいています。常勤医は3人と少ないですが、地域医療に貢献できるよう日々精進しています。どうかよろしく願いいたします。

（整形外科 医長 飯田 竜）

## 〈基本目標〉

### ○臨床の立場より

患者さんのニーズを先取りし、患者さんの疑問や訴えには即答できるよう技術・知識の習得に励みます。

### ○工学の立場より

安全で効率的な院内機器管理をし、信頼される機器を医療に提供します。

## 〈業務定義〉

○医師の指示のもと「生命維持管理装置」の操作及び保守点検を行う。

## 〈業務内容〉

- ペースメーカー外来（内科特殊外来：第3金曜日）
- 心臓カテーテル検査及び治療補助（手術室：月曜日・木曜日）
- 末期腎不全治療（透析室：月曜日～土曜日）
- 腹腔鏡手術補助（手術室：火曜日）
- ラジオ波焼灼手術補助（超音波検査室：水曜日）
- 各種血液浄化（病棟：適宜）
- 緊急呼び出し対応（24時間体制）
- 院内機器管理及び補助

臨床工学室は臨床工学技士4名で業務にあたっています。  
臨床と工学、両方の立場から、医師の指示のもとチーム医療の一員として、安全で信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。  
(臨床工学室 白前 晃)



## 健康メモ

## 「痛み止め」、上手く付き合えていますか？

みなさんはアスピリンをご存じでしょうか？解熱鎮痛剤と言われ、痛みを楽にしたり、炎症を和らげて熱を下げる効果があります。解熱鎮痛剤は他にもロキソプロフェン(商品名ロキソニン等)やジクロフェナク(商品名ボルタレン等)などがあり、日常でもよく使用される薬剤です。私たちはこれらを総称して「NSAIDs(エヌセイズ)」と呼んでいます。また、アスピリンには血栓の発生を抑えて(血をサラサラにして)、心筋梗塞や脳梗塞を予防する効果もあります。

しかし、これらの薬剤は消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)を荒らし、潰瘍(消化管の粘膜が掘れた、傷の状態)を引き起こすことも少なくありません。

ある研究ではアスピリンを服用することで消化管障害の危険性が「2倍」高まり、薬剤によっては「4~8倍」も潰瘍になりやすいとされています。

潰瘍の症状としては「みぞおちのシクシクした痛み、むね焼け、吐き気、背中痛み等」があります。ですが本当に注意したいのは、潰瘍の「3割から半数」は症状の現れない「無症候性」という事です。

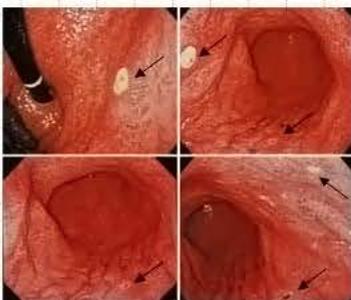
気づかないうちに、潰瘍からの出血で吐血をしたり、便に血が混じったり(胃潰瘍や十二指腸潰瘍だと、コールタールのような黒い便になります)することがあります。

実際に救急では、NSAIDsによる出血性潰瘍で運ばれてくる患者さんを診る機会は少なくありません。

近年「PPI」(ピーピーアイ、プロトンポンプインヒビター)という薬剤が、NSAIDsを内服している患者さんの消化管潰瘍の再発を強く抑えるということで、保険適応になりました。

NSAIDsは毎日の生活の質を維持するためには大切な薬です。気になる方は、一度かかりつけ医などにご相談してみたいはいかがでしょうか。

(内科 副医長 井口 正士)



多発する胃潰瘍

## 第7回 伊勢病院ふれあい祭りを開催しました

例年、「病院まつり」と題して私たち病院スタッフが一丸となって、たくさんの催しを開催してきましたが、今年は、「伊勢病院ふれあい祭り」と名称も新たに、「みんなでつくろう 健康の輪」をテーマに11月3日（木・祝）に開催しました。

当日は、当院医師による講演やスタッフによる健康相談等を通じ、来場されました1,000人を超える皆様とふれあうことができました。ご参加・ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

これからも市立伊勢総合病院は、皆様にとって、身近な存在であり続けられるように、さまざまなイベントを開催してまいります。



明野高校、宇治山田商業高校の皆さんによる出店



看護師による救急法(AED)体験

### 栄養管理課だより

## 栄養士おすすめメニュー 手巻き寿司

当院の手巻き寿司は、具だくさんのちらし寿司を海苔で巻いて食べていただきます。具はアナゴ・えび・れんこんなどを使用しますが、ご家庭にある食材を利用していただければいいでしょう。寒い時期には柔らかい、口どけの良い新海苔が出回ります。伊勢志摩でとれた海苔の香りと風味を楽しみながらお召し上がりください。



### 材料(4人分)

- ごはん ..... 600g
  - 酢 ..... 大さじ3・1/2
  - 砂糖 ..... 大さじ5
  - 食塩 ..... 小さじ1・1/3
- 【具】
- 焼きアナゴ ..... 40g
  - むきえび ..... 40g
  - ちくわ ..... 1・1/3本
  - れんこん ..... 40g
  - 人参 ..... 1/2本
  - 干ししいたけ ..... 2枚
  - かんぴょう ..... 4g
  - 塩 ..... 少々
  - 砂糖 ..... 大さじ2
  - しょうゆ ..... 大さじ2
  - 卵 ..... 2個
  - 塩 ..... 少々
  - 油 ..... 小さじ2
  - 大葉 ..... 4枚
  - しょうが甘酢漬け ..... 20g
  - 海苔 ..... 4枚

### 作り方(レシピ)

- ① 焼きアナゴはさっと茹で(臭みをとる)、1cm幅に切る。
- ② むきえびは、茹で、冷ましておく。
- ③ ちくわは半月切り、れんこんはいちょう切りにして、茹でておく。
- ④ にんじん・戻した干しいたけは、せん切りにする。
- ⑤ かんぴょうは水で洗い、塩でもむ。鍋にたっぷりの水を入れ、中火で8分ほど煮る。煮えたら、水洗いし水気を切り、5mm幅に切る。
- ⑥ ③～⑤をBの調味料で煮る。少し煮汁が残るように煮てから、ザルにあげ、冷ましておく。
- ⑦ ⑥の残った煮汁で①の焼きアナゴを煮て、冷ましておく。
- ⑧ 卵は溶きほぐし、塩を加え、いり卵にする
- ⑨ 大葉はせん切りにする。
- ⑩ Aを合わせ、すし酢を作る。
- ⑪ ごはんは少し堅めに炊き上げ、10分ほど蒸らしてからすしおけにあげ、⑩のすし酢をまわしかける。うちわであおぎながら、手早く切るようにして、すし酢全体が均一に混ざるようにする。
- ⑫ のりはさっとあぶり、1/4に切る。
- ⑬ ②、⑥～⑧の具を⑪に混ぜ、器に盛り、⑨の大葉のをせ、しょうが甘酢和えを添える。